

名張市のめざす  
「地域とともにある  
魅力ある学校づくり」  
について

平成29年2月8日  
総合教育会議資料

# 第二次名張市子ども教育ビジョン

名張市がめざす教育

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ぱりっ子」

子どもに育みたい力

夢を実現する力

- ◆基礎的・基本的な知識・技能
- ◆思考力・判断力・表現力
- ◆学習意欲
- ◆たくましく生きるための健康や体力
- ◆問題解決能力 等

社会を拓く力

- ◆コミュニケーション能力
- ◆名張を愛する心
- ◆人権を尊重する意欲・態度
- ◆規範意識
- ◆思いやりや感動する心
- ◆新しい価値を創造する力
- ◆社会をよりよくなる力 等

# 第二次名張市子ども教育ビジョン

しっかりつなぐ育ちの  
バトン

ぐんと高める育ちの  
システム

がっちり組もう育ちの  
スクラム

## 4つの新たな取組

- (1) 小中一貫教育の推進
- (2) 名張版コミュニティ・スクールの創設
- (3) (仮称)生涯学習センター機能の構築
- (4) 教育センター機能の充実

## 6つの基本目標

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 豊かな人間性の醸成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 活力ある学校づくり
- (5) 安全で安心な教育環境の整備
- (6) 家庭・地域との協働の推進

# 小中一貫教育の推進と コミュニティ・スクールの創設について

- ・ 名張市では、名張版コミュニティ・スクールを創設し、小中一貫教育を推進するなかで「地域とともにある魅力ある学校づくり」

をすすめます。



# 名張版コミュニティ・スクールとは？

## 小中一貫9年間を見据えた学校運営

名張市内小中学校では、3年前より「魅力ある学校づくり調査研究事業」を受託し、児童生徒の豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなどの「生きる力」を育成する「魅力ある学校づくり」に向け、中学校区を単位として小中連携した取組を推進してきました。今後は、この小中連携の取組を基礎として中学校区内の小・中学校が目指す子ども像を共有し、小中9年間を見据えた一貫した教育課程を編成していくことにより「小中一貫教育」の取組に発展させていくこととなります。

名張版コミュニティ・スクールでは、地域住民・保護者・学校教職員が、育てたい子どもの姿を共有し、小中9年間を見据えた一貫した学校運営を行うとともに、社会に開かれた教育課程を構築します。

## 地域学校協働本部を基盤とした学校支援

名張市内では、平成17年度より「学校支援ボランティア」登録制度を開始し、ボランティアによる市内各小・中学校の学校支援の体制整備を整えてきました。平成20年には南中学校にて国の「学校支援地域本部事業」を受け、翌年より他の小中学校においても各校の学校支援地域本部を立ち上げ、取組をすすめてきました。

名張版コミュニティ・スクールでは、「学校支援地域本部」を発展させた「地域学校協働本部」を基盤とした各校の特色を生かした学校支援に取り組み、教育の質の向上を図ります。

## 地域を愛する子どもと地域の絆を育む地域貢献

名張市内には、15の地域づくり組織があります。それぞれの地域づくり組織では、それぞれのまちの将来計画である「地域ビジョン」を策定し、まちづくりを推進しています。それぞれのビジョンでは、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりにむけたさまざまな活動ももりこまれています。

名張版コミュニティ・スクールでは、地域住民・保護者・学校教職員が、育てたい子どもの姿を共有し、学校を核とした人づくり・地域づくりをめざして「地域貢献」に取り組むなかで、地域を愛し地域を担う子どもを育み地域の絆を深めます。

# 名張市のめざす「地域とともにある魅力ある学校」 3つの機能

## 学校運営

- ・ 小中9年間を見据えた一貫した学校運営を行うとともに、地域に開かれた教育課程を構築します。

## 学校支援

- ・ 各校の地域学校協働本部を基礎とした学校支援による教育の質の向上を図ります。

## 地域貢献

- ・ 地域貢献の機能をもたせることにより、地域を愛し地域を担う子どもの育成と地域の絆づくりをめざします。

# 名張市のめざす「地域とともにある魅力ある学校」 3つの機能 取り組み例

## 学校運営

- 課題や成果を公表し、理解や承認を得る。
- 学校を開き、課題解決に地域と一緒に取り組む。
- 学校運営協議会において学校評価を効果的に活用し、学校運営の改善を図る。

### 【取組例】

- ・学校課題の熟議  
(第1回に教職員全員参加で実施)
- ・授業参観による子どもの現状の把握
- ・若手教職員の人材育成のための公開授業
- ・学校評価アンケート結果についての熟議 など



# 名張市のめざす「地域とともにある魅力ある学校」 3つの機能 取り組み例

## 学校支援

- 学校・家庭・地域で学校課題や目標等を共有し、教育支援活動を充実させる。
- 地域のネットワークを生かし、より多くの地域住民や保護者の参画による教育支援活動を展開し、子どもの豊かな体験や学びにつなげる。
- 学校の様々な活動を地域のボランティアが支援することで、教員が子どもと向き合う時間の確保につなげる。

### 【取組例】

- ・ゲストティーチャー
- ・学習補助
- ・安心安全見守り隊
- ・学校環境整備 など



# 名張市のめざす「地域とともにある魅力ある学校」

## 3つの機能 取り組み例

### 地域貢献

- 子どもが地域行事やボランティア活動に参加することにより、地域の大人とふれあう機会や多様な経験をする機会を増やす。
- 学校という場を地域住民の経験や学習の成果を生かす場、大人の学びの場にしていく。
- 学校という場が、地域住民のよりどころとなり、大人同士の絆を深めていく。

#### 【取組例】

- ・地域の方との早朝ジョギング
- ・児童生徒によるボランティア活動や地域行事等への参加
- ・教養講座の開催
- ・地域交流室(スペース)の設置                      など



# 経過と今後の推進計画

平成  
27年  
度

- ・ つつじが丘小学校・南中学校を「小中一貫教育研究推進校」に指定。
- ・ 小中一貫教育の推進のための体制づくりと周知。

平成  
28年  
度

- ・ つつじが丘小学校・南中学校を「コミュニティ・スクール導入等促進事業取組校」に指定。
- ・ 名張市コミュニティ・スクール推進協議会の開催。導入への体制づくりと周知。

平成  
29年  
度

- ・ つつじが丘小学校・南中学校を「コミュニティ・スクール」として設置。
- ・ 市内小中学校においてコミュニティ・スクール設置にむけての準備開始。

平成  
30年  
度

- ・ つつじが丘小学校・南中学校において小中一貫教育本格実施。
- ・ 市内小中学校をコミュニティ・スクールとして順次設置。

平成  
31年  
度

- ・ 市内小中学校において小中一貫教育順次実施。

平成  
32年  
度

- ・ 市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、小中一貫教育本格実施。